

追悼
大塚 明彦 先生
(JCOP副理事長)

JCOP 副理事長 大塚明彦先生逝去のご報告

大塚明彦先生は 12 月 7 日、心不全のため逝去されました。ご生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

大塚明彦先生は当学会の草創期からのメンバーであり、ながらく事務局長を務め会の発展に多大なる貢献をした方です。また、日精診の監事もながく務め、精神科診療所の発展に貢献されました。

ご冥福をお祈りします。

令和 3 年 12 月 25 日

日本外来臨床精神医学会
理事長 里村 淳

故 大塚明彦先生を偲ぶ

大塚明彦先生が令和 3 年 12 月 6 日逝去されました。

先生は、千葉大学医学部を卒業、大学院を修了され、木更津病院、千葉県精神保健センターを経て昭和 58 年、千葉市稲毛区に“大塚クリニック”を開設されました。当時、千葉地区の仲間は東京精神神経科診療所協会（東精診）に所属しておりました。東精診関谷透会長の時代に東精診から分かれて、大塚先生が初代千葉県精神神経科診療所協会の会長として千葉県の仲間を纏められたのです。

その時期、東精診関谷会長は、埼精診更に千葉精診も独立し、勉強会等に縮小感を強く感じられ、東精診の勉強会をもっと多くの仲間が集る会合にすべく東精診副会長の松下先生を中心に千葉精診会長大塚先生、その他数名から成る準備委員会を立ち上げました。審議、検討の結果、学術顧問として東邦大学鈴木二郎教授を決定、快諾を得て現在の日本外来臨床精神医学会（JCOP）が誕生する運びとなりました。JCOP は千葉、埼玉、神奈川、山梨、茨城その他広い地域の仲間呼び掛けだけでなく、従来の演者の講演を聴くだけの勉強会では無く、“誰もが発言、参加する勉強会”が企画され、大塚先生の発案により講演者の講話の後に、各リーダーが纏める小グループによる討論を行い、更に出席者全員での討論を行う“グループディスカッション方式”が採用されました。この方式は JCOP の研究会では長年に亘り引き継がれ、好評を得て勉強会には東北、関西、九州などからも仲間が参加するようになりました。JCOP 発足後、大塚先生には事務局長として長期間ご尽力頂き、更に副理事長をも務められました。先生のご活躍の場は広く、日本精神神経科診療所協会副会長、後に監事、千葉県犯罪被害者支援センター副理事長、東京歯科大学臨床教授など多くの役職を務められました。長い間のお力添えに衷心より御礼申し上げます。

ご冥福を祈念申し上げます。

令和 4 年 12 月 12 日

JCOP 監事 石山淳一